

# 看图作文の要素をコミトレに

鈴木有香子（和歌山県紀美野町立美里中学校）

キーワード：見ること、正確さ、感じる心、オノマトペ

## 1 看图作文の要素とコミトレ

看图作文については、第10回大会で発表したが、「変換」「要素関連づけ」「外挿」の三段階を経て、作文を書くという手順を追うが、この各段階で、生徒相互の情報交換が効率よくなされれば、作文の内容は格段に濃いものとなる。ここに協同学習の出番がある。「絵図」を読み解くことにおいて、正解は一つではない。しかし、我々は、どうしても、自分が最初に感じたこと、見えたと思ったことから抜け出せないものであり、視点を変えて物事を見るということはむずかしいものである。しかし、他者の考えを聞き、自分が思いもよらなかったことに思い至ったとき、何ともいえない感動を覚えることがある。それが、協同学習の醍醐味であろう。

一方、本校はこの10年、「コミトレ」の実践を続けてきた。私が、看图作文と出会う前から、「見ること」を意識した、「コミトレ」にも取り組んだことがあった。（「1日10分の言語活動！伝え合う力を育むコミュニケーション・トレーニング」2012年4月 紀美野町立美里中学校・編著 東洋館出版 参照）

看图作文と「コミトレ」の違いは、まず、要する時間である。看图作文では、少なくとも一時間、長ければ三時間をかけて実践してきた。しかし「コミトレ」は、朝や終わりの学活の10分、長くても15分間でできるものでなくてはならない。

すでに、着目していた「見ること」と「書くこと」のコミトレに、看图作文の要素を取り入れ、さらに、学習効果が高く、感性を磨く「コミトレ」に発展させることができないだろうか。これが、私の今年度の大きな課題の一つになった。

## 2 「見たこと」を伝えるとは？

「見たこと」を伝えるといっても、二つの側面があるのではなかろうか。一つは、正確に「見たこと」を伝えることであり、もう一つは、「見たこと」から考えたこと・感じたことを伝えるという側面である。極論すれば、前者はいかに自分の主観を交えずに伝えるかということであり、後者は、「見たこと」の正確性よりも、情意・主観の方を重視しているということであろう。であるとすれば、時間に制約のある「コミトレ」では、前者に主眼を置くべきであろうと、最初は思っていた。もちろんそれも大切である。だからこそ、かつてのコミトレでは、「主観を交えず、正確に伝えよう」という課題に取り組んだ。また、絵を見て、この後何が起きるかを予想させるもの、季節や時間帯を読み取るというものも

してみたことがある。

しかし、それだけではおもしろくない。そこに、看图作文で言うところの「要素関連づけ」や「外挿」を盛りこみ、一人一人が異なる作品を作る余地はないのだろうか。

## 3 一枚の写真から

日本における看图作文の先駆的研究者である鹿内は、その著書「協同学習ツールのつくり方いかし方」（ナカニシヤ出版 2013年）の中で、写真を活用した看图作文の授業展開例を示している。これをヒントに、「一枚の写真（絵）」を使った看图コミトレを作ることにはできないかとひらめいた。写真（絵）を見て、「何が写っているか…変換」「ここはどんな場所で、何をしているか等…要素関連づけ」「何を感じるか…外挿」という順に読み取り、それを表現する。これならば、短時間で取り組み、しかも、多様な文章が生まれるのではなかろうか。

だが、表現方法にも工夫が必要である。「何を感じるか」までを、普通に文章化（物語化）するのならば、ある程度の文字数が必要になるであろう。当然時間もかかる。そこで、オノマトペを活用した、短詩形式はどうだろうかと考えついた。オノマトペの表現力は昨今注目を集めている。本校でも、6月の現職教育で、遠藤英子氏（元同志社大学講師）を招いてオノマトペを使った演習を行った。

この写真とオノマトペを組み合わせたコミトレを作ろうという模索を始めている。

## 4 「コミトレ詩集」をめざして

では、どんな写真（絵）が良いのだろうか。看图作文では、「曖昧性」があるものが良いとされている。つまり、想像できる範囲を残しているものということであろう。また、オノマトペを使いたいということを考え合わせれば、感覚に訴える要素があることも必要であろう。写真を撮るために、学校の周辺や出向いた先々で、条件に合うようなシーンを探さなければならない。鹿内がいうところの「授業づくりあたま」（「協同学習ツールのつくり方いかし方」P85～）になって、周囲を注視しなければならない。

また、生徒たちには、「オノマトペ」とはどういうものであるかを教えなければならない。今回計画した「看图コミトレ」の準備段階として、「オノマトペ」を題材にしたコミトレを実施しなければならない。

しなければならないことは山積みだが、このコミトレを実施した後に、「コミトレ詩集」なるものができあがることを、夢見ている。